

一生 生まれる——してから——死ぬ——まで
(終り)

一 緒 一 致 両手の指頭を上になしたそれ



ぞれの人差指と親指の指頭を同時につけ合わす。二指を合わせるの、物の合致を示したものの。「同じ」の

手まねともなる。

一 生 懸 命 両手の五指の指頭を上になした掌を平行に向かい合わせて、顔を両側で挟み、次に両手をそのまま前方へ真直ぐに出す。馬車馬の目かくしを表わしたものの。他を顧みもせず、ひたすらに進むの意味。

一 層 左手の人差指を胸の前に一の字に横たえてその下に、右手の人差指と親指でコの

字形にしたのを持って行き、次にコの字を一の字の上に置きかえる。更にその上に重ねるの意味で、つまり「一層」となる。

いとこ (従兄弟) 伯父 (叔父) V 息子 (娘)

伯父叔父 (伯母叔母) の手まねから、生れる

一 男性 (中指) 或は女性 (薬指)

一杯くった 掌を上向けて五指を指頭がその指のつけ根につく程に曲げた手を顎の下に直角に手首のところにつけてから、そのまま

下に落とす。顎がはずされたと云う身振り。



一 般 (1)「普通」

と同じ手まね。(2)

掌を下に向けた

右手を左胸脇から

前へ弧を描いて前

へ。「みなさん」「御一同」と演説者がする

動作。

いつわる 「欺く」「嘘」と同じ手まね。

移転 胸の前に「家」を表わした両手をそのまま、左方、或は右方に移す。

井戸 左右の人差指と中指を組合わせて「井」形をつくる。

田舎 掌を下に向けた左右の手を前後にして、五指を屈めて、土を掘り返えす身振り。

○農業を表わす。

稲光 左右の人差指を指頭で山形に合わせ、それを左右に離して、稲妻の形を描く

犬 左右の親指の指頭を、左右のこめかみにつけ、他の四指を下に垂らして、こまかく動かす。犬の垂れた耳を表わしたもの。

猪 五指を彎曲した手の甲の方を鼻頭につけて、猪の突き出た鼻を表わし、次に牙を表わすつもりで、両手の曲げた人差指を口の両

側につける。

威張る 五指の指頭を集めて、鼻頭に持つて行き、鼻をつまみ伸ばす心持ちで、前方へ引き出す。鼻高を意味し、「自慢する」ともなる。次に胸を張り、両肘を左右に張る。昂然とした態。

訝あやかる 「怪しむ」と同じ手まね。

今 「現在」と同じ。

意味 握り拳にした左手の手首のちょうど下を、指頭を前方にさした右手の人差指を錐をもむようにして斜め下に突き降して行く。「意味」をほじくること。「研究」の手まねにもなる。

芋 五指をまるく彎曲した指頭を額の横に、次に頭の上にと置いて見せる。額や頭に出来た瘤をたとえて芋のでこぼこの形状を表わしたもの。

妹 肉親の前提手まねあって女性（葉指）